

平成26年4月1日から平成27年3月31日

1 総括事項

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に基づき設立認可された一般財団法人山鹿市地域振興公社の平成26年度事業実施に当たり、地方自治法第244条の2第3項の規定による「公の施設」の指定管理を引き続き受託し、市民サービスの向上、福祉の増進に努めるとともに、市民の文化振興及び観光振興の積極的な推進を図った。

また、自主事業及び公益目的事業を展開し、利用者の満足度向上に努めた。

平成26年度は新規に10月から山鹿市総合体育館の昼間の管理業務事業を受託実施した。

2 事業の内容

(1) 自主事業・公益目的事業

ア 文化振興・福祉向上事業

- (ア) 「山鹿市旅先案内人養成講座」を実施し、ボランティア活動を積極的に支援し、観光都市山鹿を訪れる観光客の受け入れ体制の充実を図った。
- (イ) 「山鹿市旅先案内人の会」が、祝日、毎週土・日曜日に灯籠民芸館の案内ボランティアを実施した。
- (ウ) サイクリングターミナルにおいて、夏・冬休みを利用し子供たちが集団生活をするにより、友人との協調性を学ぶとともに宿泊施設としてのPRを兼ね「わくわくどきどき宿泊体験」を開催した。
- (エ) 学校週休2日制を活用し、サイクリングターミナルで年3回小学生を対象とした季節に応じた物づくり体験型の「日帰り体験」を実施し、子供たちに施設のPRと集団行動を学ばせた。
- (オ) 八千代座を活用し、伝統文化の継承と新しい地域独自の文化発信を目的に、文化財指定の狂言師を指導者に迎え、市民が参加し地域独自の狂言を創造する山鹿八千代座狂言教室を実施した。
- (カ) 八千代座文化講座事業として、独自の舞台芸術を育てることを目的として、市民舞台公演、子供歌舞伎教室及び公演サポートとしての人材育成を実施し、また見学のお客様に披露した。
- (キ) 八千代座を支えた文化のひとつに「映画」がある。そこで、八千代座で映画上映会を実施することにより、地域で失われている映画鑑賞機会の提供と映画文化の推進を図った。
- (ク) 市民の運動不足の解消、健康増進等を図る目的で、市内外、男女、年齢に関係なく楽しめる「第13回新春ビーチボールバレー大会」を実施した。
- (ケ) さくら湯の龍の湯を活用し市内小学生1年生を対象にした温泉へ入浴マナー等を学ぶ入浴体験を山鹿市・山鹿市教育委員会と共同で実施した。

- (コ) さくら湯において「アロマテラピー教室」・「山鹿湯町企画展」等を実施した。また、季節の年中行事として「菖蒲湯」等を実施し入浴者数の増加を図った。
- (サ) 昔のさくら湯の浴室内に広告看板があった歴史を踏まえ、当時の面影を再現するため浴室内広告看板設置事業を実施した。
- (シ) 山鹿温泉湯町めぐりとして8つの共同浴場と提携し、スタンプラリーを実施し山鹿の温泉地としての観光振興を図った。
また、くまモン誕生祭に合わせさくら湯においてくまモン湯を開催した。

イ 文化・スポーツ等の情報提供に関する事業

- (ア) 山鹿市名刺録を発行した。
- (イ) 西南の役の史実である山鹿口の戦いを市内外に知ってもらうため「西南の役山鹿口の戦い」を販売した。
- (ウ) 公社のホームページ及びダイレクトメールを活用し、施設及び物品を紹介し、利用者の拡大を図った。

ウ その他の関連事業

- (ア) 観光名刺台紙の販路拡大を図った。
- (イ) 山鹿市のお土産品としてキティグッズを販売した。
- (ウ) 山鹿の伝統産業「灯籠」をモチーフとした手持ち灯りを開発・販売した。
また、手持ち灯りを活用した制作体験を実施した。
- (エ) サイクリングターミナルの宿泊増加のため、大会及び合宿団体に無料昼食券及びさくら湯の入湯券を提供した。
- (オ) 小学生から高齢者まで灯籠の制作過程を理解していただくために、「ミニ灯籠」制作体験を実施した。
- (カ) 山鹿市全域の観光情報等を発信する観光案内所及び観光レンタサイクルの充実を図った。

(2) 受託事業

次の各施設の管理運営及び受託業務にあたった。

「指定管理者制度施設」 さくら湯、サイクリングターミナル
灯籠民芸館、市民スポーツセンター
八千代座等

「受託業務」 灯籠踊り保存会及び観光振興業務
カルチャースポーツセンターの業務
博物館の受付業務、
情報発信拠点創り事業
さくら湯北側玄関開放業務

3 事業収入に関する事項

公社の基本財産30,000,000円の運用利息9,000円、文化振興福祉向上事業費収入2,760,140円、文化・スポーツ等の情報提供に関する事業費収入1,385,900円、その他の関連事業収入514,100円、「公の施設」管理運営等の委託料及び利用料金165,208,223円、雑収入506,458円、前年度繰越金19,277,282円加えた公社事業費総収入額は、189,661,103円であった。

4 事業支出に関する事項

自主事業（文化振興福祉向上事業、文化・スポーツ等の情報提供に関する事業、その他の関連事業）経費3,991,913円（公益目的事業含む）、「公の施設」管理運営等に伴う経費145,834,331円（公益目的事業費含む）、公社事務局運営費3,757,229円、公益目的事業費4,903,037円、特定預金支出3,530,000円、租税公課4,924,100円、公社事業費支出費総額は166,940,610円であった。

5 その他の事項

平成27年度への繰越金は、22,720,493円である。